

日本特殊教育学会 第60回大会 (2022 理事会) 『実証性と創造的な対話を通じた Special Education の進展へ』 大会通信

ご挨拶

日本特殊教育学会第60回大会 準備委員会
委員長 野呂 文行 (筑波大学/学会理事長)

日本特殊教育学会第60回大会は、本学会理事会が主催して開催することになりました。理事会主催となりましたのは、第60回という節目の大会であることがひとつの理由です。それに加えて、2大会連続(福岡教育大学・筑波大学)でオンライン開催となり、新型コロナウイルスの感染拡大前とは大会を取り巻く環境が大きく変化したことも、理事会開催の理由となっています。つまり本大会には、新たな環境に対応した大会運営の在り方を探るという使命も帯びています。今後の大会は、対面・オンライン・オンデマンドを組み合わせたハイブリッド型が標準的なものになると予想されます。理事会主催による本大会が、今後の大会開催のひとつのモデルとなるよう準備を進めさせていただきます。

大会のテーマは、「実証性と創造的な対話を通じた Special Education の進展へ」としました。本学会の定款には、学会の目的として、「わが国における特殊教育の科学研究の進歩発達を図ること」と明記されています。今一度、この目的に立ち戻ると、科学研究の進歩発達に欠かせないもののひとつは、研究成果における実証性の保証であろうと思います。ただしこの場合の実証性とは、実験や観察等の自然科学的手法に基づく研究成果のみを指し示すものではありません。そのような狭い実証主義は、本学会の特徴である学問領域の多様性・学際性を歪める可能性があります。この場合の実証性、すなわち本大会テーマにおける実証性とは、歴史的事実、先行研究の研究成果、または様々な教育支援現場での実践の成果等も含めて、他者に説明可能な形で収集された知見という幅広いものを意味します。

一方でこれらの「知見」の価値は、それぞれの立場の人にとって、様々であろうと思います。会員それぞれの価値判断は、他者から押しつけられるものではありません。しかし違いを尊重しながらも、お互いの立場や考え等を想像し対話を積み重ねることによって、より普遍的な価値を創造していくことは学会の大きな役割です。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、そのような対話の必要性を感じる機会が多くなってきております。学会大会という対話の場の価値を見つめ直す良い機会であろうと思います。本学会大会が、会員皆様の幅広い実証性のある研究知見の提示と、その知見に関する多様な対話により、新たな価値の創造の契機となることを願っております。

準備委員会事務局長 左藤 敦子 (筑波大学)

第58回大会および第59回大会においては、COVID-19の感染拡大への配慮より、オンラインによる開催となりました。特に、第59回大会は、ニューノーマル時代への挑戦として大会参加の臨場感を重視し、大会への参加アクセスの工夫を行った大会となりました。第60回大会の大会通信が、学会員のみなさまの手もとに届く頃も、COVID-19の影響の見通しが立ちにくい状況ではあることが推測されますが、本大会では、感染対策を徹底し、「対面による現地実施の企画」とともに、第59回大会におけるオンラインのノウハウもいかした開催を目指したいと考えております。感染対策を講じるために、学会員のみなさまにも、多様なご協力をお願いすることがあるかと存じますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

第 60 回大会の日程(予定)

- 大会期間 2022年9月 17日(土)～9月 19日(月・祝)(つくば国際会議場)
 ※オンデマンド配信:9月上旬～10月20日(予定)

日程(予定)	企画
オンデマンド配信 9月上旬 - 10/20	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自主シンポジウム I (オンデマンド : 話題提供) ※70 企画, 申込順 ■ 自主シンポジウム II (オンデマンド : 話題提供 + 質問フォーム) ■ 国際シンポ (オンデマンド, 日本語字幕あり) ■ 教育講演 (オンデマンド, 字幕あり)
対面 @つくば国際会議場 9/17 - 9/19	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター発表 (対面) ■ 口頭発表 (対面) ■ 自主シンポジウム I (対面 : 質疑・ディスカッション) ※70 企画, 申込順 ■ 大会企画シンポジウム (対面 : 質疑・ディスカッション)
9/18	記念講演 (対面 + リアルタイムオンライン)

※緊急事態宣言および感染状況等により, 変更する可能性もあります。

第 60 回大会の主な企画

(1)研究発表

- ・ ポスター発表 あるいは, 口頭発表 (リアルタイムオンラインによる配信なし)

(2)自主シンポジウム

以下の2種類からいずれか1つを事前選択

①自主シンポジウム I (オンデマンド+対面による質疑応答)

- ・ 70 企画(申込順)
- ・ 話題提供 : オンデマンド(30～60 分 / 企画者の責任にて字幕付与)
- ・ 質疑・ディスカッション : 大会期間中に対面実施(60 分) (リアルタイムオンラインによる配信なし)

②自主シンポジウム II (オンデマンド+質問フォーム)

- ・ 話題提供 : オンデマンド(30～60 分 / 企画者の責任にて字幕付与)
- ・ 質疑・ディスカッション : 質問フォーム(質問フォームを介して, 企画者より回答をもらう形式)

(3)記念講演 (9月 18 日)

- ・ 講 師 : 穴澤雄介氏(ヴァイオリン奏者, ヴィオラ奏者, 作曲家, 講演家)
- ・ テーマ : 「社会参加に必要なスキルの育て方」
- ・ 講演スタイル : 対面 および リアルタイムオンラインによる配信

(4)国際シンポジウム

- ・ オンデマンド(日本語字幕あり)

(5)大会企画シンポジウム

- ・ 話題提供 : オンデマンド(字幕あり)
- ・ 質疑・ディスカッション : 大会期間中の対面 および リアルタイムオンラインによる配信

(6)教育講演

- ・ オンデマンド(字幕あり)

(7)会員のつどい

- ・ 対面 および リアルタイムオンラインによる配信
- ・ フューチャーリサーチアワード発表 他

(8)フューチャーリサーチアワード

- ・ 実施詳細につきましては、後日、別途お知らせします。

(9)交流ラウンジ (oVice 使用予定)

- ・ オンライン上で参加者同士が自由に交流・雑談できる場として開放
- ・ 交流ラウンジで使用するシステムの詳細や参加方法などは、別途お知らせします。

〈各企画の実施スタイル〉

企画	対面 (つくば国際会議場) 9月17日~9月19日	リアルタイムオンライン 9月17日~9月19日	オンデマンド配信 9月初旬~10月20日
研究発表:ポスター発表	○		
研究発表:口頭発表	○		
自主シンポジウム I (70 企画/申込順)	○ (質疑・ディスカッション)		○ (話題提供 事前動画)
自主シンポジウム II			○ (話題提供 事前動画 /質疑 質問フォーム)
記念講演 (9月18日)	○	○	
国際シンポジウム			○
教育講演			○
大会企画シンポジウム	○ (質疑・ディスカッション)	○ (質疑・ディスカッション)	○ (話題提供 事前動画)

※緊急事態宣言および感染状況等により、変更する可能性もあります。

アクセシビリティ・サービス

大会期間中、会員の様々なニーズに応えるため、障害のある方を対象にアクセシビリティ・サービスを提供いたします。詳細につきましては大会ホームページ(アドレス)をご覧ください。アクセシビリティ・サービスをご利用いただくにあたっては、サービス担当者の手配や配置などの準備や調整が必要となりますので、期限(2022年5月31日(火)18:00)までに、事前のお申込をお願いいたします。

アクセシビリティ・サービスのお申し込みについては、以下の点にご留意ください。

1. 原則として、障害のあるご本人以外のお申込はお受けできません。
2. アクセシビリティ・サービスの提供は、基本的に以下の2つの場合に限定されます。
 - (1)障害のある方が自身が発表する研究発表およびシンポジウム
 - (2)障害のある方が参加を希望する研究発表およびシンポジウム

3. 大会に参加される方は、ご自身が発表する・しないに関わらず、必ず期日までにWEBから申し込みをしてください。
4. 非会員の方も、必ず期日までにWEBから申し込みをしてください。
5. 事前にお申しいただいた方には、大会プログラム公開(8月中旬予定)後に、参加を希望する研究発表、シンポジウム等について確認させていただきますが、各参加者のサービスの希望が異なるプログラムに分散する場合など、サービス希望の状況によって、サービスを提供するプログラムを限定させていただきます。
6. コロナ感染拡大等の状況に応じて、本大会はオンライン開催となる場合がありますが、その場合でも、サービスを希望される方は必ず、申し込みをしてください。

感染対策

感染対策は、茨城県の方針に従って実施いたします。

感染状況に応じて、都度、感染対策についての協力を依頼することとなりますこと、ご承知おきください。

以下、感染対策の例です。

- ・ つくば国際会議場入館前の健康チェック
- ・ つくば国際会議場入館前あるいは入室前の、茨城県の感染拡大防止システム「いばらきアマビエちゃん」登録
- ・ 入室時の手指消毒やマスク着用の徹底
- ・ 入室前の換気

他

お問合せ先

■参加申し込み・発表申し込み・原稿投稿に関するお問い合わせ

日本特殊教育学会第60回大会 運営事務局

株式会社プロアクティブ

〒650-0034 神戸市中央区京町83番地 三宮センチュリービル3階

TEL:078-954-5160 FAX:078-332-2506 (月～金9:30-18:00, 土日祝休業)

E-mail: jase60@pacmice.jp

第60回大会ホームページ

<https://www.jase.jp/taikai60/>

参加申し込み・発表申し込み要項

大会参加申し込み

① 申し込み方法

- 大会ホームページ(<https://www.jase.jp/taikai60/>)より申し込みを行ってください。登録後に『参加受付番号(数字4桁)』が付与されます。
- 大会参加申し込みの締切は、**2022年4月30日(土)18:00(時間厳守)**です。

② 諸費用の納入

- **2022年5月31日(火)**までに納入してください。期日を過ぎた場合には、参加申し込みはキャンセルとなりますのでご注意ください。
- 参加申し込み・諸費用のお支払いを完了された方には、『参加申込完了メール』が送信されます。大会当日まで必ず保管ください。ご提示をお願いする場合がございます。

大会までの主なスケジュール

期 日	内 容
4月上旬～	<p><u>原稿投稿に先立ち、大会参加申込・研究発表等の申込を4月30日までに行ってください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加「参加A」,「参加B」申込 開始 ・ポスター発表・口頭発表 申込 開始 ・自主シンポジウム I, 自主シンポジウム II 申込 開始 ・ポスター発表・口頭発表・自主シンポ原稿投稿 開始 ・研究発表費・自主シンポジウム企画費・大会参加費など払込開始
2022年4月30日 (土)18:00 ※締切厳守してください。これ以降の申し込みは一切受け付けません。	<ul style="list-style-type: none"> ・大会参加「参加A」,「参加B」<u>申込 締切</u> ・ポスター発表・口頭発表 <u>申込 締切</u> ・自主シンポジウム I, 自主シンポジウム II <u>申込 締切</u>
2022年5月31日(火)18:00 ※締切厳守してください。これ以降の申し込みは一切受け付けません。	<p><u>4月30日までに、申込をしていない場合には原稿投稿できません。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター発表・口頭発表・自主シンポ原稿投稿締切 アクセシビリティ申込 締切 (会員, 非会員にかかわらず全員) 大会参加費・研究発表費・自主シンポ企画費等払込 締切
2022年7月初旬(予定)	(抄録原稿の倫理審査結果, 発表可否の通知)
2022年7月下旬～8月中旬頃	自主シンポジウム I, 自主シンポジウム II のオンデマンド動画提出 字幕付与は各企画者の責任のもと対応をお願いします。
2022年8月中旬頃	大会ホームページにてプログラム公開
2022年8月下旬頃	プログラム集発送 (購入者のみ)

大会参加費および諸費用

大会参加費（参加Aと参加Bでは、金額および参加可能範囲が異なります）

参加A	正会員	会員	5,000円	全ての企画に参加可能 ※発表論文集(CD-R)とプログラム(PDF)を含みます。 ※学部生は発表関係者に該当しません。
	大学院生・研究生・専攻科	会員・非会員	3,000円	
	臨時会員	非会員	10,000円	
	学部生		無料 (参加申込 必要)	
参加B	正会員	会員	2,000円	実施スタイルが「リアルタイムオンライン」と「オンデマンド」の企画に参加可能（「対面@つくば国際会議場」の企画には参加できません） ※プログラム(PDF)は含みます。 ※発表論文集(CD-R)は含みません。必要に応じて別途購入してください。
	大学院生・専攻科	会員・非会員	1,000円	
	臨時会員	非会員	5,000円	
	学部生		無料 (参加申込 必要)	

研究発表費・自主シンポジウム企画費・プログラム・発表論文集

研究発表費 (ポスター発表・口頭発表)	1,000円	大会参加費とは別に必要となります。研究発表の筆頭者は必ず5/31までに納付してください。
自主シンポジウム企画費	I 対面 質疑：15,000円 II 質問フォーム：5,000円	大会参加費とは別に必要となります。企画者は必ず5/31までに納付してください。
プログラム(冊子体)	1,500円	希望者のみ。参加登録時に申込できます。
発表論文集(CD-ROM)	2,000円	参加登録時に申込できます。数に限りがございますのでご注意ください。

研究発表筆頭発表者および自主シンポジウム企画者は、大会参加費の他に費用が必要となります。

いずれも必ず5月31日(火)までにお支払いください。

- * 学部生・専攻科学生・研究生・大学院生(現職教員等の社会人学生を含む。科目等履修生は除く。)で、学生証の提示があった方は、「大学院生・専攻科」に該当する参加費となります(申込の際にデータをアップロードいただきます)。申込の際に学生証の提示がない場合は割引の対象となりませんので、ご注意ください。
- * 「参加B」から「参加A」への変更、ならびに、「参加A」から「参加B」への変更はできません。「参加A」の申込をした方で、対面企画に参加できない場合においても、大会参加費は返金いたしません。
- * 費用は不課税です。

支払方法と納入期日

- お支払いは「銀行振入」または「クレジット決済」のいずれかを選択してください。
- 納入された諸費用の変更・返金は一切できません。
- クレジット決済はWEB上での決済となります。参加申し込み時にお支払いまでお進みください。
- 銀行振入の方は、以下の口座にお振入ください。振入手数料は各自でご負担願います。口座情報は、5月以降に別途お知らせします。

納入期日・・・2022年5月31日(火)

「参加A」の申し込み者、研究発表者(ポスター・口頭)、自主シンポジウム企画者は、大会参加費と諸経費を必ず5月31日(火)までに納入してください。参加費と諸経費の領収をもって、受付完了となりますので、期日までにご入金を確認できない場合は、申し込みは取消となりますのでご注意ください。

なお、大会参加申込は必ず4月30日(土)までに行なってください(論文投稿×切:5月31日)。

緊急事態宣言等による対面実施が困難になった場合の対応

緊急事態宣言や感染状況の悪化等により、やむをえず、全面オンライン開催へ変更とする場合においても、「参加A」ならびに「参加B」で参加可能な企画に変更はありません(参加できる企画は、p6.「大会参加費および諸費用」をご確認ください)。また、大会参加費および諸経費についても、返金はいたしませんので、ご理解のほど、お願い申し上げます。

研究発表(ポスター・口頭)・自主シンポジウム企画の申し込み

申込×切と、論文投稿×切の日程が異なります。

研究発表・自主シンポジウム企画の申込を行っていない場合、論文投稿ができません。

研究発表・自主シンポジウム企画の申込×切は、4月30日(土) 18:00です。

研究発表・自主シンポジウム企画の論文投稿×切と、諸費用の納入×切は、5月31日(火)18:00です。

【発表形式】

- ポスター発表:対面形式
- 口頭発表:対面形式
- 自主シンポジウム:以下の2種類からいずれか1つを事前選択
 - ・自主シンポジウムⅠ: オンデマンドによる話題提供+対面による質疑応答(70企画/申込順)
 - ・自主シンポジウムⅡ: オンデマンドによる話題提供+質問フォームによる質疑応答

※研究発表にはポスター発表と口頭発表の2つの形式があります。今大会では会場および感染対策の都合上、発表形式を変更いただくこともありますので、ご協力ください。いずれの形式になるかは大会ホームページおよび大会プログラムにてご確認ください。

※自主シンポジウムⅠの対面による質疑応答は60分です。

【発表資格】

- 研究発表者の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者は、論文投稿締切日5月31日(火)の時点で、日本特殊教育学会の正会員であり、学会年会費を納入済みであること。会費未納の場合は、学会の除名対象となる可能性、発表資格を失う可能性が生じます。
- 連名発表者、話題提供者と指定討論者は会員に限定しませんが、大会参加の申し込みおよび諸費用の納入が必要となります。
- 現在は非学会員で、これから入会をして発表申し込みをされる方は、4月23日(土)開催の理事会で入会承認を受ける必要があります。必ず4月18日(月)午前中までに入会手続きを済ませてください。入会手続きについては、学会ホームページにてご確認ください。申し込みには入会承認後に発行される『会員ID(数字8桁)』が必要となります。

【発表条件】

- 研究発表(ポスター・口頭)は1人1題に限ります。同じ発表者がポスターと口頭の2題の申込できません。ただし、連名発表者(共同発表者)については、この限りではありません。
- 自主シンポジウムの企画は1人1企画に限ります。複数の企画はできません(同じ発表者が、自主シンポジウムⅠと自主シンポジウムⅡの2題の申込はできません)。

- 同一グループによる連続発表は、**3題**までとします。
- **研究発表(ポスター・口頭)の筆頭発表者、自主シンポジウムの司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。**(学会企画シンポジウムご登壇、自主シンポジウムの企画のみでご登壇されない場合、筆頭以外の研究発表については、この限りではありません。)
- 連名発表者(共同発表者)は、大会不参加(名前のみ記載)の場合であっても大会参加費の事前支払いが必要となります。**2022年4月30日(土)18:00**までに大会参加申し込みの上、**5月31日(火)まで**に大会参加費の振込を完了してください。連名取り消しの場合であっても大会参加費は返却いたしませんのでご注意ください。

【その他】

- 大会開催後の自主シンポジウム企画者への開催報告の原稿依頼は、現在は行っていません。

【申込手続】

① 申し込み方法

[手順1] 参加申し込み(4/30×切)・・・大会ホームページより参加申し込みを行ってください。

[手順2] 論文原稿の投稿(5/31×切)・・・参加申し込みを完了されると、『参加受付番号(数字4桁)』が付与されますので、その番号と登録いただいたパスワードで、大会ホームページの<論文投稿ページ>から投稿画面にログインして原稿をアップロードしてください。

※この論文原稿の投稿は、**自主シンポジウムは企画者が、研究発表(ポスター・口頭)は筆頭発表者が行ってください。**連名発表者の方は論文の投稿は必要ありませんが、**参加申し込みの手続きは必要です。**

[手順3] 費用の納入(5/31×切)・・・期日までに大会参加費および諸費用をお支払いください。

②原稿投稿の締切

2022年5月31日(火)18:00(時間厳守のこと。これ以降の申し込みは一切受け付けません。

- 2022年5月31日(火)18:00までに、論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。自主シンポジウム企画費および研究発表費は返却いたしませんのでご注意ください。
- 研究発表と自主シンポジウムにおいて、発表者側で字幕付与をすると申し出たにもかかわらず、字幕のない動画が提出された場合には、発表を認めない場合がありますのでご注意ください。
- 自身で字幕付与を行うとした企画において字幕のない動画が提出されたことによって開催をお断りした場合には、自主シンポジウム企画費は返却いたしませんのでご注意ください。
- 申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。研究発表費は返却いたしませんのでご注意ください。

大会プログラム・発表論文集について

- ① 大会参加「参加 A」には、大会プログラム(PDF)と発表論文集(CD-R)が含まれています。発表論文集(CD-R)会場の受付にてお渡しいたします。
- ② 大会参加「参加 B」には、大会プログラム(PDF)のみが含まれています。発表論文集(CD-R)が必要な方は、1枚2,000円にて販売いたしますので購入してください。郵送にて配布いたします。
- ③ 発表論文集は、大会ホームページより閲覧システムにて、参加者(参加 A・参加 B 申込者)のみ閲覧可能な形で掲載いたします(2022年12月末まで公開予定)。
- ④ 大会プログラム(PDF)は、大会ホームページに掲載します。冊子体を希望される方には、1冊1,500円にて郵送で配布いたします。
- ⑤ 発表論文集(CD-ROM)および大会プログラム(冊子体)の購入は、参加登録時に申込ができます。

原稿投稿要項

研究発表および自主シンポジウム(共通)

1. 発表論文集原稿を作成・投稿するにあたっての注意

- 発表論文集は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味した原稿を期待します。
- 内容については、他学会等で公表していないオリジナルなものとしてください。
- 発表内容については、日本特殊教育学会の倫理綱領を遵守していることが必要です。

なお、提出原稿につきましては、倫理綱領並びに倫理規定を遵守しているかどうかを学会の研究倫理委員会でチェックした上で、発表の可否を判断いたします。特に下記のような倫理上の配慮や手続きが必要な研究については、発表論文集原稿の任意の箇所に、これらの配慮や手続きを行った旨を簡潔に記載してください。

- ・相手方の同意・協力を必要とする研究
- ・個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究
- ・生命倫理・安全対策に対する取組みを必要とする研究
- ・法令等に基づく手続き等を必要とする研究

また、事例等を発表する場合、本人・保護者・事例所属機関等への了解及び個人が特定されることのないよう個人情報の取扱いに十分な配慮をお願いいたします。例として、発表論文集原稿では対象者・対象機関等は仮名称(A児、B学校等)を用いる、支援や調査の期間を匿名化する(201x-1年～201x年等)等の配慮を行ってください。提出される資料には必ず「本人あるいは保護者、所属機関等の許可を得て掲載している」旨を明記し、発表時にも許可を得ている旨を口頭でご報告ください。

- 原則として、研究の目的、方法、結果、考察、結論の各項に分けて記述してください。
- 原稿の投稿は、大会ホームページからの投稿画面からのアップロードのみで受付を行います。
- 投稿前に大会参加申し込み画面より研究発表あるいは自主シンポジウム企画の申し込みを行ってください。
- 規定外の原稿で提出された場合および期日に遅れたものについては受け付けられません。
- 研究発表において、筆頭発表者は正会員に限られます(連名発表者は非会員でもかまいません)。
- 自主シンポジウムにおいては、企画者および司会者が正会員であることを確認してください。
- 2022年5月31日(火) 18:00 (時間厳守)までに投稿(アップロード)を完了してください。申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。
- これ以外の規定は、学会ホームページにある「(一社)日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定」を参照ください。

【一般社団法人 日本特殊教育学会倫理規定】

https://www.jase.jp/about/pdf/rinri_rule.pdf

【一般社団法人 日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定】

https://www.jase.jp/convention/pdf/presentation_rule_220227.pdf

2. 発表論文集原稿作成要領

- 投稿用テンプレート(Word用)を大会ホームページからダウンロードすることができます。
- 原稿は、A4サイズ 1 頁です(上下20mm, 左右16mmの余白を設けてください)。
- 原稿の作成はワープロソフト(Word)を使用して作成してください。投稿時にレイアウトがくずれる可能性もありますので、PDFファイルに変換をおすすめしますが、保護はしないでください。
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入の方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

3. 発表原稿投稿(アップロード)方法

- 投稿に際しては、筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者・話題提供者の学会の会員ID(数字8桁)を用意してください。会員番号が不明な場合は必ず本人にご確認ください。会員でない方は、記入する必要はありません。
- 申し込みの際には、下の表の区分に従って、希望する領域・部門をそれぞれ1つずつ選び、適当なキーワードを 3 語以内でご記入ください。領域・部門については各企画を配置する際の参考とします。
- 研究発表で一連発表を希望する場合は、投稿の際に 一連発表者の参加受付番号(数字4桁)と発表の順番を入力してください。
- 投稿完了後、登録メールアドレスに演題登録確認メールをお送りいたします。届かない場合には操作方法来に誤りがある場合がございますので、再ログインして内容確認をするか、受付係までお問合せください。
- 2022年5月31日(火)18:00(時間厳守)までに投稿画面からのアップロードを完了してください。受付期間内は投稿内容の上書きが可能です。

研究発表希望区分(※自主シンポジウムについても選択が必要です)

領域	A-1.教育(初等教育) A-2.教育(中等教育) A-3.教育(高等教育) A-4.教育(その他) B.生理 C.心理 D.医療・保健 E.福祉 F.キャリア G.その他
部門	1. 視覚障害 2. 聴覚障害 3. 知的障害 4. 肢体不自由 5. 病弱虚弱 6. 言語障害 7. 行動・情緒障害 8. 発達障害 9. 重度・重複障害 10. 矯正教育 11. 障害全般 12. ダイバーシティ 13. その他
キーワード (例)	教育原理 歴史 人権擁護 福祉制度 教育計画 乳幼児期 地域社会 知的発達 ASD ADHD SLD 生涯発達 神経科学 認知発達 言語獲得 支援技術 就労支援 運動・動作 人間関係 指導方法 ソーシャルサポート 教育評価 教育課程 授業分析 交流および共同学習 作業学習 教科学習 不登校

研究発表

1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目(主題)」「題目(副題)」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体、センタリングしてください。
- 「題目(主題)」は第 1 行と第 2 行に、18 ポイントで書いてください。
- 「題目(副題)」は第 3 行に 9 ポイントで書いてください。副題がない場合は第 3 行を空けてください。
- 「氏名」は第 4 行に記入し、連名の場合は筆頭発表者の氏名の前に ○ 印をつけてください。
- 「所属」は、第 5 行に氏名の下にカッコでくくって書いてください。連名の場合、発表者の所属が同一であれば、一つだけ記入してください。所属が大学の場合には、学部あるいは研究所名まで記入し、大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。
- 「キーワード」は、第 6 行目に 3 語以内で記入してください。
- 第 7 行目は、空けてください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは 9 ポイントで書いてください。文字は、「3. 研究発表原稿レイアウト」に示す範囲に入れ、本文の字数は 27 字× 52 行× 2 段組としてください。本文の総字数は 2,808 字となります。題目の字数、副題などの関係から上記の行数や字のポイント数に若干変更があっても、第 8 行目から書き始めてください。
- 原稿の最終 1~2 行目には、発表者全員の氏名をローマ字(例: TSUKUBA Taro)で記入してください。

- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。**投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法は、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。
- **連名発表者(共同発表者)は、事前に大会参加費を納めなければいけません。**

3. 研究発表の形式

- 発表は、つくば国際会議場にて対面で実施いたします。
- 発表は **1人1題**に限ります。ただし、連名発表者(共同発表者)となることはこの限りではありません。
- 発表用動画等の作成ならびに口頭説明・質疑・ディスカッションにあたっては、障害のある方の情報アクセシビリティへの配慮をお願い致します。配慮事項や配慮方法の詳細につきましては、大会ホームページ上の「アクセシビリティ・ガイドライン」をご覧ください。

自主シンポジウムⅠ・自主シンポジウムⅡ

1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体とし、センタリングしてください。
- 「題目」は、原則として、18ポイントで書いてください。
- 「氏名」と「所属」は、原則として、9ポイントとします。
- 「キーワード」は、3語以内で記入してください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは9ポイントで書いてください。企画趣旨、各話題の要旨、指定討論の要旨などの項に分けて記述してください。文字は、「3. 自主シンポジウム原稿レイアウト」に示す枠内に入れてください。
- 原稿の最終1～3行目には、企画者、司会者、話題提供者、指定討論者全員の氏名をローマ字(例:TSUKUBA Taro)で記入してください。
- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。**投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

2. 自主シンポジウム開催に関する注意事項

- 企画者および司会者は正会員に限ります。話題提供者および指定討論者は、非会員であっても差し支えありません。***ただし、研究発表の筆頭発表者、自主シンポジウムの司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。**(学会企画および準備委員会企画シンポジウムご登壇、自主シンポジウムの企画のみでご登壇されない場合、筆頭以外の研究発表については、この限りではありません。)
- 自主シンポジウム企画者は、**大会参加費に加えて、自主シンポジウム企画費の払込が必要です。**また、**企画者以外の正会員も大会参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。**どちらの場合も、**2022年5月31日(火)までに必ず払込を完了してください。**

- **自主シンポジウムに関する非会員の方は、参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。**参加申込締切は2022年4月30日、大会参加費の払込の締切は**2022年5月31日(火)までに必ず払込を完了**してください。

3. 自主シンポジウムの発表形式

- 自主シンポジウムの形式は、登録時に①あるいは②のどちらかを選択してください。
 - ①自主シンポジウムⅠ：オンデマンド(話題提供)+対面(質疑・ディスカッション)
 - ②自主シンポジウムⅡ：オンデマンド(話題提供)+質問フォーム(質疑)
- ①、②とも、動画ファイルの作成は、次の(1)~(3)のいずれかの方法でおこない、ご登録ください。ファイル形式はmp4のみ受け付けます。
 - (1)発表場面の撮影
 - (2)音声or動画付きスライドショー(PowerPoint・Keynote等)動画
 - (3)遠隔会議システム(Zoom等)による記録録画
- 1シンポジウムで1つの動画と1つの PowerPointスライドあるいはPDFファイルのみ、受け付けます。話題提供者や指定討論者等の動画と資料を企画者で取りまとめて下さい。
- 自主シンポジウム形式の①、②いずれについても、動画の時間は最短30分以上、60分程度を目安に、ファイルサイズは最大2GBまでで作成してください。
- 発表用動画等の作成ならびに口頭説明・質疑・ディスカッションにあたっては、障害のある方の情報アクセシビリティへの配慮をお願い致します。配慮事項や配慮方法の詳細につきましては、大会ホームページ上の「アクセシビリティ・ガイドライン」をご覧ください。